

2021年8月6日

環境論壇「2050 ネットゼロ達成に向けて」についての投稿の呼びかけ

新澤秀則・大島堅一・武田史郎・柘植隆宏

第15巻第1号の環境論壇のテーマは「2050 ネットゼロ達成に向けて」とします。

2016年に発効したパリ協定は、長期的目標として、「今世紀後半に温室効果ガスの人為的な排出と吸収のバランスを達成」することを目標として掲げました。いわゆるネットゼロ目標です。ところが、各国が2030年までに達成する目標として提出した内容を集計しても、ネットゼロの達成にはほど遠く、ギガトンギャップなる言葉も生まれました。国連環境計画による、最新の排出量ギャップレポート2020によれば、2019年の世界の温室効果ガス排出量は新たな最大値に達し、ギャップは大きくなるばかりです。

一方、2020年末時点で、121の国が2050年あるいは2060年までに排出量ネットゼロを達成する目標を表明し、いくつかの国は、意味合いに差異があるものの、その目標を法律に書き込んでいます。また、それに伴い、2030年目標の改定強化を表明する国が増えています。

このような直近の各国の動向は、ただのりを基本原理とする国際交渉の理解とは異なる様相を呈しているように見えます。パリ協定の下での各国の交渉の成果であると言えるでしょうか。各国首脳が、頻発する大規模な気候災害の原因を、増え続ける人為的温室効果ガスの排出にあると認識し始めたからでしょうか。あるいは他の要因が働いているのでしょうか。

排出量ネットゼロ目標を実現可能にし、信用あるものにするため、近いうちに十分な政策と措置を実施し、NDCsに反映させる必要があります。日本の場合、政策としてはやはりカーボンプライシングが焦点でしょう。直接的な環境エネルギー政策だけにとどまらず、投資の誘導などの政策があります。措置としては、省エネ、再エネ、水素のより一層の拡大、人為的炭素除去とその固定や利用などがあります。合意が遅れているパリ協定第6条はほぼ固まりつつありますが、どのように活用できるでしょうか。国境調整のような国際合意を必要とする政策に関する議論も高まっています。今から30年先は不確実性が高いですが、目標設定や政策措置が技術開発を方向付ける側面をとらえたモデル分析などの蓄積もかなりあるようです。

そこで第 15 巻第 1 号の環境論壇では、ネットゼロ目標表明の背後にある要因に関する考察や、2050 年までにネットゼロを達成するために追加的に必要な政策と措置、2050 年ネットゼロの経済の姿に関する論考を募集します。

レビュー論文も歓迎しますが、単なる先行研究の列挙ではなく、独自の視点での整理と考察を求めます。本学会としては、自然科学的側面や技術的側面を踏まえつつも、経済・政策・制度的側面を重視します。皆様の積極的な投稿を呼びかけます。

投稿規定

環境経済・政策学会の会員・非会員を問わず投稿を受け付けます。著者全員が非会員の場合、投稿料 5 千円（税込）を、また、掲載が決定した場合は、別途掲載料 5 千円（税込）を支払ってください。ただし、編集委員会が執筆を依頼した場合は、その限りではありません。ご自身の研究結果を含まなくともかまいませんが、他者の研究結果・データ・主張等を用いる場合は、必ず出所を明確にしてください。また、総説の紹介ではなく、ご自身の視点で主張を展開してください。さまざまな分野の専門家および一般市民を対象としたものであることを念頭に置かれ、高度に専門的な論考はお避けください。

- ・ 字数制限は、本文の上限 5 千字（注釈・参考文献を含む。図表を除く）、また図表の総数を上限 4 点とします。字数制限は必ずお守り下さい。なお、文字数は、MS ワードのステータスバーに表示されるものではなく、文字カウントダイアログボックスに表示される「文字数（スペースを含めない）」で数えてください。
- ・ 第 1 ページに、タイトル、名前（邦文および英文）、所属、メールアドレスを記入し、論文は第 2 ページから始めて下さい。英文タイトル、論文要旨、キーワードは不要です。
- ・ 記述のスタイルは、『環境経済・政策研究』の投稿規定・執筆要領 (http://www.seeps.org/pdf/journal/jj_instruct2019.pdf) と同一です。なお、参考文献を引用する際は、該当ページもお示しください。また、文書は MS ワードで作成をお願いします。
- ・ 投稿は、学会 web から行ってください。投稿出来ない場合は、柘植 (t-tsuge-8s2@sophia.ac.jp) まで、メールで送付してください。

締切：2021 年 11 月 19 日（金）

投稿された論考は、編集委員会で迅速に採否を決定します。その際、修正を求めることがあります。なお、不採用の場合でも、レフェリー・レポートは特にありませんので、ご了承下さい。

以上